

2026 年度大学一般選抜第 1 回
短大一般選抜（共通）
問題と解答

試験科目・配点

試 験 科 目	時 間	配 点
英語（英語コミュニケーション I・II、論理・表現 I）	50分	100点
国語（現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く））	50分	100点

英 語

出典

You shall include the following credit line in every copy of the Work produced/displayed, where the Cengage Material appears, or in the credits pages, in accordance with standard industry practice:
Cengage Learning Inc. Reproduced by permission.
www.cengage.com/permissions

I. 次の英文を読んで、各問いに答えなさい。

When you go home this evening after school or after work, ①what is the first thing you are going to do? You're probably going to switch a light on, turn the heat or air conditioning on, and cook dinner or watch TV. ②Whatever you plan to do, you're probably going to use electricity.

Most of us use electricity (ア) thinking about it, but approximately 1.1 billion people in the world don't have electricity. For example, in Myanmar, only 26% of the population has electricity. Outside of the cities, people get light from the sun during the day and from candles at night. Candles are expensive and dangerous, ③but now there is a safer and cheaper solution to this problem : small solar panels are (イ) to use and can give electricity immediately.

When Spanish photographer Rubén Salgado Escudero first visited Myanmar, he says : "I worked in villages and the people had no light at night. Then, one day, I visited a village with solar lights and people's everyday life was (ウ) easier. For example, fishermen went fishing before sunrise because of the solar panels. Children could do their homework as a result of electricity."

After his first visit, Rubén showed his photographs of people with their solar lights and he raised* money to pay for more solar lights. Now, more people in Myanmar have solar panels ; ④these panels take energy from the sun and then provide 12 hours of light during the night. In the future, Myanmar is going to build larger solar panels for some of these villages, but—for now—the smaller panels will continue to (エ) people's lives.

注

raise* : (お金) を集める

【出典】

WORLD ENGLISH 1 THIRD EDITION by John Hughes and Martin Milner

1. 空所（ア）～（エ）に入る最も適切な語句を選び、記号で答えなさい。

（ア） a. beside b. besides c. with d. without

（イ） a. hard b. annoying c. easy d. difficult

（ウ） a. much b. very c. so d. more

（エ） a. stop b. change c. destroy d. damage

2. 下線部①を和訳しなさい。

3. 下線部②を和訳しなさい。

4. 下線部③は具体的にどのような意味か。最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア ミャンマーにおける電気需給率の高さという問題に対して、安価で安全な解決策がある。

イ ミャンマーの都市部と農村部の格差という問題に対して、安価で安全な解決策がある。

ウ ミャンマーでは昼間は太陽からの光だけを利用しているという問題に対して、安価で安全な解決策がある。

エ 高価で危険なろうそくの問題に対して、ミャンマーでは安価で安全な解決策がある。

5. 下線部④を和訳しなさい。

6. 本文の内容と合致するものを1つ選び、記号で答えなさい。

ア 世界の約1億1千万人の人々は、電気がない所に住んでいる。

イ ソーラーパネルのおかげで、漁師たちは夜明け前に漁に出かけることができた。

ウ ルーベンの努力にもかかわらず、ソーラーパネルはミャンマーではあまり普及しなかった。

エ ミャンマーは大きなソーラーパネルの建設を予定していない。

II. それぞれの空所に最もよく当てはまる語句を選び、番号で答えなさい。

1. This book I () from the library was so helpful.
① used ② borrowed ③ lent ④ leased
2. I got my father () me a new bicycle.
① bought ② buy ③ being bought ④ to buy
3. The meeting is expected to start () two hours.
① in ② for ③ by ④ at
4. David was so busy that he () down the job offer.
① took ② looked ③ went ④ turned
5. It started raining when I went out. () was worse, the wind got stronger.
① It ② Which ③ What ④ That
6. It is () to snow in that area tomorrow morning.
① willing ② likely ③ free ④ eager
7. Kevin () to a literature club now.
① is belonging ② belong ③ belongs ④ has been belonging
8. Yoko has been () from work for four days.
① absent ② aware ③ about ④ willing
9. We can () use of the various facilities in the hotel.
① take ② make ③ get ④ have
10. His smartphone has great features. I want to buy () like that.
① one ② that ③ it ④ this

Ⅲ. AとBの会話が自然なやりとりになるように、空所に入れるのに最も適切なものを選び、番号で答えなさい。

1. A : What's the matter with you?

B : ()

- ① Don't mention it.
- ② I have nothing to do with the matter.
- ③ My tooth hurts so much.
- ④ It doesn't matter.

2. A : Would you pass me the salt?

B : ()

- ① It is taken from the sea.
- ② Here you are.
- ③ I didn't give it to you.
- ④ Is that dish rich in flavor?

3. A : How was your trip to Hawaii?

B : ()

- ① English is spoken in Hawaii.
- ② By all means.
- ③ I've been to the Philippines once before.
- ④ It was perfect!

4. A : If you have anything to say, please feel free to ask me.

B : ()

- ① Any time is OK.
- ② No, I feel sick.
- ③ That's very kind of you.
- ④ Take it easy.

5. A : When is the deadline for that report?

B : ()

- ① The deadline cannot be extended.
- ② No, it isn't.
- ③ Your report is very nice.
- ④ It's the end of April.

IV. 日本文と同じ意味になるように()内を並び替えたとき、()内で2番目と4番目にくるものの番号を答えなさい。ただし、文頭に使う語も小文字で書かれています。

1. バランスのとれた食事をするのは体に良い。

(① diet ② you ③ a ④ does ⑤ well-balanced) good.

2. お父さんがタバコを吸うのを控えてくれたらいいのに。

I (① smoking ② father ③ wish ④ refrained ⑤ from ⑥ my).

3. 社長はそのような高価な絵画を買う余裕はなかった。

The president (① to ② such ③ couldn't ④ buy ⑤ afford) an expensive painting.

4. ジョンはなんとか間に合うように会議に到着した。

John (① at ② in ③ to ④ meeting ⑤ the ⑥ managed
⑦ arrive) time.

5. その風景画を見ると、私は自分の故郷を思い出す。

The landscape (① the ② of ③ reminds ④ where ⑤ place
⑥ me) I was born.

模範解答

I.

1.

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
d	c	a	b

2. 最初に何をするつもりですか。

3. 何を計画するにしても、おそらく電気を使うことになるでしょう。

4.

エ

5. これらのパネルは太陽からエネルギーを取り込み、
夜間に 12 時間の照明を提供します。

6.

イ

II.

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
②	④	①	④	③	②	③	①	②	①

III.

1	2	3	4	5
③	②	④	③	④

IV.

1		2		3		4		5	
2 番目	4 番目	2 番目	4 番目	2 番目	4 番目	2 番目	4 番目	2 番目	4 番目
⑤	④	⑥	④	⑤	④	③	①	⑥	①

国

語

一次の文章を読み、後の問いに答えよ。(設問の都合上、文章の一部を改変してある。また、設問の都合上、各段落の冒頭に番号を付してある。)

①論理的に考えることは、学術のみならずビジネスや教育、日常の判断に至るまで幅広い分野でその重要性と必要性が指摘されている。世界共通で不変のように語られている論理的思考だが、そもそも論理的であるとはどのようなことなのか、論理／非論理の線引きは何によって行われるのか。論理的に思考する方法は本当にひとつなのか。

②本書はこれらの問いに、論理的思考が世界共通で不変という考えのもとになった論理学の「形式論理」に対して、論理には文化的側面があることを指摘し、それを価値観に紐づけられた「本質論理」と名づけて、思考の「基本パターン」の側面と「文化的」側面の両面から答えていきたい。

③思考する目的が異なれば、その手段としての結論を導く手続きが変わり、論理的であることの基準が変わる。目的に応じて異なる論理的思考法を使いこなすことが重要で、それこそがこれからの論理的思考である^①と指摘し、その道筋を示すのが本書の目的である。複数ある論理的思考を、目的に応じて選択して使いこなすことを本書では「多元的思考」と呼ぶことにする。

④筆者が論理的であることと、そして論理的思考が「ひとつ」ではないことに気づいたのは、アメリカの大学院に留学して、エッセイと呼ばれる小論文をティッシュツ^①した時だった。「評点不可能」と赤ペンで書かれ突き返された時の衝撃は今でも忘れられない。それ以上に衝撃的だったのは、どんなにテイネイ^②に書き直しても同じコメントが繰り返された一方で、いったんアメリカエッセイの構造を知って書き直すと、評価が三段跳びで良くなったことである。英語が急にジョウタツ^③したわけでも知識がカクダン^④に増えたわけでもない。しかしアメリカ式のエッセイ型で書くと、それまで自分が重要だと思っていたことが必要なくなり、エッセイのポイントである主張すらも変わってくる。すると必然的に結論も変わってくるという不思議を体験した。それは論文の構造に導かれた論理と思考法の日米の違いという、まさに「見えない文化衝突」の体験だった。

⑤論理の道筋というのは、作文の構造によって導かれること、それを使えばその都度一から考える必要はなく、論理的に考え、書くことができること、そしてその論理の型を共有している人たちと円滑にコミュニケーションできることを実体験から学んだ。論理的思考はグローバルに共通なものではなく、実は文化によって異なっており、それぞれの教育のカテゴリ^⑤で身につけていくものなのである。そして論理的思考の型は、それぞれの社会が何を重視し文化の中心に据えるのかと深く関わっている。

⑥たとえば日本では「西洋」と一括りに論じられることが多いアメリカとフランスの小論文の構造は全く異なっており、相手国で自国の小論文の型で書くと、「何を言っているのか分からない」「つながらが不明」「全く不十分な議論」、そして「論理的でない」と落第点がつけられるのである。

⑦なぜそんなことが起こるかといえば、作文を書く目的が異なるからである。結論を先取りするならば、アメリカ式のエッセイは、自己の主張を分かりやすく効率的に論証して、相手を説得することが目的であるのに対して、フランス式小論文の目的は、時間をかけてあらゆる可能性を吟味し矛盾を解決すること、それを公共の福祉という政治的判断に生かすことである。

⑧アメリカ式エッセイは主張に関係しない要素を削ぎ落とすことによって、複雑な世界を単純化して問題解

決を行うのに対して、「正一反一合」の弁証法を型にしたフランス式小論文は、常識的な見方とそれに反する見方、それら二つを総合して矛盾を解決することで、^⑩多様な人々で構成される社会全体の利益に目を向けさせる。それぞれの国の小論文には、あるべき結論の形と結論に至る道筋——それが論理となる——がそれぞれに存在する。

⑨アメリカ式エッセイは、経済のグローバル化と英語の覇権的地位の獲得とともに、ビジネスのみならず多くの領域で世界標準の書き方になっている。確かにアメリカ式エッセイを学ぶことは、アなコミュニケーションを行う上でとても役に立ち、多くの人に必須の知識と技術であることは間違いない。論文の書き方やビジネスの指図書を見ると、「論理的思考」といわれているものの実態は、このエッセイの思考法であることが多い。しかしそれのみで押し通そうとすると、論理的思考の思わぬ落とし穴にはまることも確かである。フランスとの対比はそれを鮮やかに見せてくれる。

⑩とはいえ、こうした論理的思考の方法は「無限に」あるわけではなく、いくつかのタイプを「型」として提示することが可能である。本書では「経済」（アメリカ）、「政治」（フランス）、「法技術」（イラン）、「社会」（日本）の四つの領域に固有の論理と思考法を、各領域で書いたり話したりする時の「型（構造）」に注目して提示する。政治、経済、法、社会の領域は、どの国にも併存しているが、「どの領域の論理を使うのか」によって、その判断（結論）は変わってくる。このようなアプローチを取ることで、国ごとに無数に論理とその思考法があるとする文化対主義に陥らず、有益かつ基本的なタイプを特定することができる。考える。

⑪その時、四つの領域の原理をそれぞれひとつの「文化」と捉えて、社会の中心に据えている国、具体的には、アメリカ、フランス、イラン、日本の四方国の学校で教えている「作文の型」に注目して各領域の論理的思考を抽出する。そうすることで、学校で教えられ実際に使われている作文の「型」を通して、私たちは各領域の論理の本質——目的と手段、価値観——を理解し、かつ文脈／場面に応じて「使いこなす」ことができるようになるのである。これが本書独自のアプローチである。

⑫子どもの作文の型から経済や政治領域の思考法が分かるのか、といぶかる読者もいるかもしれない。しかし、思考法を理解するために、学校の作文に注目する有効性は、異なる領域を代表する国の子どもたちが同じ絵を見てその絵をどう説明し、理由づけるのかという作文実験の結果と、その実験結果を裏づける教育の目的と実践から明らかにされている（渡辺 2004）。

⑬以下は、ある少年の一日を描いた四コマ漫画を、日本とアメリカの子どもが説明した実例である（渡辺 2004：22-23）。実験の参加者は日米それぞれ小学校最終学年の四学級の児童、日本一四四名（小学校六年生）、とアメリカ八二名（小学校五年生）である。両国の大学生に同じ課題で作文してもらうと、小学生とほぼ同じ結果が持続して現れている（渡邊 2023）。少年の名前は日本ではけんた、アメリカではジョンとした。

【日本】けんた君は ねないでテレビゲームをしていて そしたら しあいじかんまえになってしまっ
ていそいでユニホームにきがえてバスにのったところ まちがえて そしてしあいじかんにまにあわなくて
せんばつでピッチャーができませんでした。

【アメリカ】私のジョンの一日に対する意見は、一日の始めから終わりまで彼はイライラした一日を過ごしたということです。その日は彼にとってとても皮肉な日でした。まず彼はテレビゲームを長くやりすぎたので、それが悪い出来事の連鎖反応を引き起こしたのです。彼は遅く起きたので精神的にパニック状態になり、実際それが間違ったバスに乗る原因となり、それが野球の試合の練習におくられる原因になったのです。要するに、彼は悪い一日を過ごしました。

⑭日本の子どもの作文は、この例のように出来事を起こった順番に連鎖して「……して、……して」と一文で述べる「時系列型」と、出来事を起こった順番で述べた後に教訓を付け加えて「教訓のお話」にするタイプが九割以上を占めるのに対して、アメリカは、最初に結論となる主張を述べて、その根拠として出来事を述べる、つまり、エッセイの型を絵の説明の枠組みとする作文が三分の一以上を占めた。

⑮〈主張―根拠―結論〉のエッセイの思考法に慣れたアメリカ人からすると、時系列で出来事を述べる日本の子どもの作文には、最も重要な「主張」がない、当然主張の論証もされていない、時間順に述べただけで全く思考した跡が見られない「イ」な作文ということになってしまふ。

⑯他方、日本人にとって最初に主張を述べるのは、自己主張が強く最初に結論が分かかってしまふ面白みのない展開に感じる。そのため、最初に主張を述べることに心理的、道義的な強い抵抗感がある。そもそも絵の説明に主張が必要なのか、因果関係でいちいち理由づけする必要があるのか、それよりは四コマ漫画の主人公に寄り添い共感するような記述のスタイルを取るべきではないかと考えてしまふ。

⑰このように、それぞれの国の人々が相手の説明に納得できない理由は、「経済」、「政治」、「法技術」、「社会」という相異なる四つの領域の目的を知ることによって、すつきりと見えてくるだろう。

⑱しかし「論理的であること」が多くの小論文の指南書が指摘するように単に証拠を示したり、帰納や演繹、因果を使って説明したりすることだと受けとめると、この文化の衝突はその原因が全く見えないまま、能力の高低の問題にすり替えられてしまふ。小論文の型に現れる「スタイル（様式）」の違いが「論理的思考」という近代社会で価値ある思考法を通して、学力や能力に転換される。本書で見えていくように、四つの領域では評価される能力の質が全く異なり、評価の方法も違っている。

⑲アメリカは資本主義の旗手として経済が重視されているのは自明のことと受けとめられているが、学校で教えているのはいかに利益を上げて資本を蓄積し投資するかではない。学校で教えているのは、資本主義経済で重視されるものの見方・考え方とその表現法である。

⑳とはいえ、日米の作文実験の実例を見ると、やはり日本語とそれを使う日本人は非論理的なのだ勘違いしてしまう読者もいるかもしれない。

㉑日本では決められたルールよりも、「その場の要請」を感じ取って場にふさわしい言動を取ることが求められる傾向が強い。それを逆手に取ってその「場」が、たとえば経済領域の論理で思考し表現する場であると明確に設定すれば、その場の要請に応じて論理的に考え表現できるはずである。

（出典：岩波新書 渡邊雅子『論理的思考とは何か』より）

注1 帰納（キノウ）…個別の具体的な事例から、一般的な法則や原理を導き出す思考法。

注2 演繹（エンエキ）…一般論や大前提から、論理的に結論を導き出す思考法。

模範解答

問一	①	提出
問二	②	丁寧
問三	③	上達
問四	④	格段
問五	⑤	過程
問六		
問七		
問八		
問九	②	

問一	「ア効率的イ非論理的」	「何を重視し文化の中心に据
問二	「それぞれの社会が	「政治的判斷に生かす
問三	「公共の福祉と	「論文の構造に導かれ」た論理と「思考法
問四	「文化	「による違いにあると考えている。
問五	「自己の主張を分かりやすく効率的に論証し	「て、相手を説得する
問六	「表現法」	「こととを目的とした
問七	「あるべき結論の形と結論に至る道筋	
問八	「目的	
問九	「②	

